

設立50周年に寄せて

後志教育研修センターの前身は、後志教育研究所です。

昭和26年、「管内の教育実態の把握、教育内容と方法の実践的研究及び資料の収集と提供などを行い、後志の教育振興に寄与すること」を目的として、創設されました。

当初は、倶知安中学校に事務局を置き、倶知安小学校への移転も経て、昭和49年に閉所するまでの24年間、研究調査を実施してきました。

その間、設置母体の変遷はありましたが、研究委員として百余名の方々が研究を担当されて、後志教育界に輝かしい業績を刻みこんできました。

昭和45年、「学校の教職員並びに社会教育指導者の資質の向上を図り、教育水準の向上を期するため、後志教育研修センターの設立を期する」として、後志教育局、後志町村教育委員会協議会、小樽市教育委員会、後志及び小樽市の小・中学校長会と教頭会、後志教育研究会、後志単式複式教育研究連盟、後志教育研究所の代表が集まり、後志教育研修センター設立要望委員会が構成されました。

昭和50年、「後志管内20市町村が管内教職員並びに社会教育指導者の資質・能力の育成に役立つ研修講座事業と管内教育の充実・振興に必要な調査研究事業を協働で実施すること」を目的として、倶知安町文化福祉センター3階に事務所を置く、後志教育研修センターの設立となったものです。

設立当初は、8講座の開設でした。現在は28講座を開設しています。また、公開講義を4本、オンデマンドとして3本を公開いたします。

今年度当初の、後志管内教職員の受講希望者数は、750名です。

既に実施した講座の受講者アンケートからは、自己の課題解決のために得たヒントの、具体的内容が記載されています。自分らしく工夫を加え、実践し、改善していく決意が伝わってきます。

これもひとえに、講師の情熱あふれる実践と丁寧な準備、受講者の高い研修意欲の『啐啄同時』によるものと思います。

私も、可能な限り、最初から最後まで講座に参加しながら、数々の新発見・再発見に出会い、「学びは楽しい・わくわくする」感動を、日々味わわせていただいております。

引き続き、「開かれた研修センター」「愛される研修センター」の実現に向けて、取り組んでまいります。ホームページには、指導案バンクを立ち上げておりますので、ご覧いただければ幸いです。

今後とも、ご支援・ご協力をいただけますよう、よろしく願い申し上げます。

後志教育研修センター
所長 木村和義